

株主通信

2018年度 報告書

2018年4月1日～2019年3月31日

株主の皆さまへ	1
子会社の状況	
ソニー生命(単体) 2018年度実績	6
ソニー損保 2018年度実績	7
ソニー銀行(単体) 2018年度実績	8
ソニーフィナンシャルグループの取組み	9

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ソニーフィナンシャルグループの「ミッション・ビジョン・バリュー」、2018年度の業績および配当、2019年度の通期業績見通しおよび配当予想についてご報告いたします。

2019年6月

代表取締役社長 石井 茂



2019年4月

ソニーフィナンシャルグループの「ミッション・ビジョン・バリュー」を制定しました。

当社は、グループが一丸となって持続的な企業価値の向上と社会へ幅広く貢献することを目指し、新たな企業理念である「ミッション・ビジョン・バリュー」を制定しました。

ソニーフィナンシャルグループは、常識にとられない新しいビジネスモデルで各業界に参入し、個人のお客さまを中心としたニーズにお応えすることで成長してまいりました。ビジネスを取巻く環境が加速度的に変化する中においても、

さらなる成長を健全に果たすためには、グループの「存在意義」や中長期的に「目指す姿」、社員一人ひとりが大切にしている「価値観」を改めて明確にし、すべてのグループ社員で理解・実践することが重要であると考えています。

今後もグループ各社の原点である「お客さまのために」という思いを受け継ぐ「ミッション・ビジョン・バリュー」のもと、持続的な成長に努めるとともに、社会全体の発展に貢献してまいります。

詳細はこちら▶

https://www.sonyfh.co.jp/ja/news/article/190401_01.pdf



ソニーフィナンシャルグループのミッション・ビジョン・バリュー

ミッション／存在意義

人々が心豊かに暮らせる持続可能な社会をつくる

ビジョン／目指す姿

お客さま一人ひとりに合わせた付加価値の高い商品・サービスと
テクノロジーの力で感動を生み出し、
最も信頼される金融サービスグループになる

バリュー／価値観

- | | |
|--------|--------------------------------------|
| お客さま本位 | お客さまの声を真摯に受けとめ、
満足される商品とサービスを提供する |
| 独自性 | 自由闊達な組織のもと、いきいきと働き、創造と革新を追求する |
| 誠実かつ公正 | 高い倫理観と使命感を持ち、公平・公正に行動する |
| 多様性 | 多様な考え、異なる視点で新しい価値をつくる |
| 持続可能性 | 規律ある事業活動で、ステークホルダーへの責任を果たす |

株主の皆さまへ

Theme 1 2018年度実績について

経常収益は、生命保険事業、損害保険事業および銀行事業のすべての事業において増加した結果、1兆6,291億円(前年度比8.3%増)となりました。経常利益も、上記すべての事業で増加した結果、938億円(同40.4%増)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、620億円(同19.6%増)となりました。なお、前年度に特別利益として生命保険事業において投資用不動産の売却にともなう固定資産等処分益132億円を計上しています。

生命保険事業：経常収益は、保有契約高の堅調な推移などを受けた保険料等収入の増加により、前年度に比べ増収となりました。経常利益は、その他有価証券に係る減損損失の計上があったものの、保有契約高の拡大による利益の増加、有価証券売却益の

計上、解約の増加にともなう責任準備金負担の減少、およびその他有価証券に係るヘッジを目的としたデリバティブ取引の損益の改善により、前年度に比べ増益となりました。

損害保険事業：経常収益は、主力の自動車保険で正味収入保険料が増加したことにより、前年度に比べ増収となりました。経常利益は、自然災害にともなう損害率の上昇や一部の商品における責任準備金の積み増しなどがあったものの、事業費率の低下や増収効果などにより、前年度に比べ増益となりました。

銀行事業：有価証券利息の増加や、住宅ローン残高の積み上がりにもなう貸出金利息の増加などにより、経常収益および経常利益は、前年度に比べ増加しました。

セグメント別業績の概況

	経常収益			経常利益		
	2017年度	2018年度	増減率	2017年度	2018年度	増減率
連結	15,036	16,291	+8.3%	668	938	+40.4%
うち生命保険事業	13,512	14,643	+8.4%	541	782	+44.4%
うち損害保険事業	1,100	1,151	+4.6%	65	68	+4.9%
うち銀行事業	399	460	+15.2%	71	95	+34.3%

Theme 2 2019年度業績見通しについて

2019年度については、引き続き生命保険事業、損害保険事業および銀行事業の各事業ともに業容拡大を見込んでおり、持続的な成長基調を維持していく見通しです。2019年度の連結業績は増収増益となり、親会社株主に帰属する当期純利益も増加する見通しです。

生命保険事業： 経常収益は、保険料等収入の堅調な推移などを見込んでいることから、2018年度に比べ増収となる見通しです。

経常利益は、解約の減少にともなう責任準備金負担の増加を見込んでいる一方で、保有契約高の拡大による利益の増加を見込んでいること、および2018年度にその他有価証券に係る減損損失を計上したものの、2019年度の見通しには同様の損失を織り込んでいないことなどから、増益となる見通しです。

損害保険事業： 経常収益は、自動車保険を中心に正味収入保険料の増加などを見込んでいることから、2018年度に比べ増収となる見通しです。経常利益は、自動車保険の増収に加え、2018年度において一時的に積み増した一部商品の責任準備金の影響がなくなるなどを見込む一方で、火災保険の契約獲得拡大にともなう責任準備金繰入額の増加を見込んでいることから、横ばいとなる見通しです。

銀行事業： 経常収益は、引き続き住宅ローンの着実な積上げや、外貨ビジネスの強化により業容は堅調に拡大すると見込んでいることから、2018年度に比べ増収となる見通しです。経常利益は、増収にともなう業務粗利益の増加を見込む一方で、事業費の増加を見込んでいることから、2018年度に比べ減益となる見通しです。

	経常収益			経常利益			親会社株主に帰属する当期純利益		
	2018年度 (実績)	2019年度 (予想)	増減率	2018年度 (実績)	2019年度 (予想)	増減率	2018年度 (実績)	2019年度 (予想)	増減率
連結	16,291	16,900	+3.7%	938	980	+4.4%	620	650	+4.7%
うち生命保険事業	14,643	15,205	+3.8%	782	842	+7.7%			
うち損害保険事業	1,151	1,212	+5.3%	68	70	+1.5%			
うち銀行事業	460	493	+7.1%	95	86	△10.4%			

株主の皆さまへ

Theme3 配当について

2018年度の期末配当は、すでに公表しているとおり、前年度から1株につき2.5円増配し、62.5円を予定しています。

2019年度の期末配当予想は、事業環境や業容成長および経済価値ベースの利益見通しなどを勘案

した結果、2018年度予定の1株につき62.5円から2.5円増配し、65.0円といたします。

今後も中長期の収益拡大に応じた、安定的な配当の増加を目指してまいります。

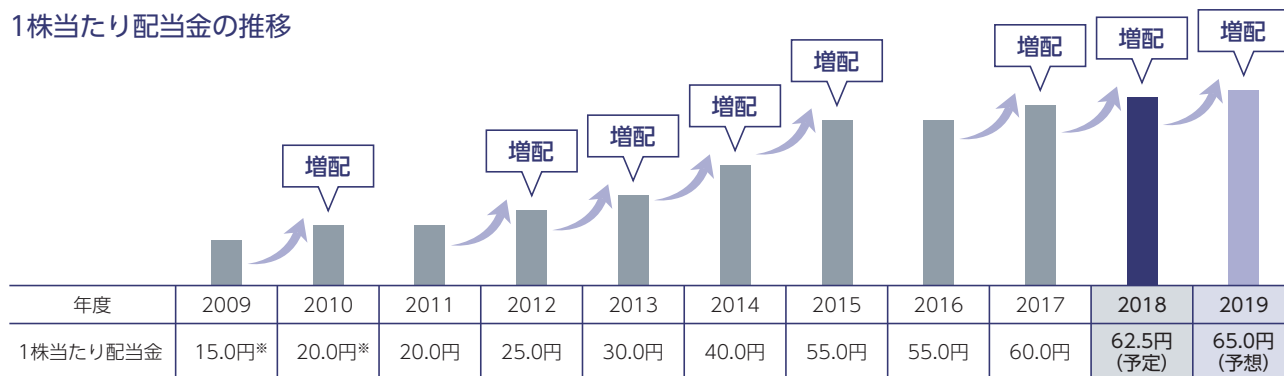
<利益配分に関する基本方針>

当社は、グループ各社における健全性と成長分野への投資のための適切な内部留保を確保した上で、安定的な配当の実施を基本方針とし、その上で、中長期の収益拡大に応じて配当の安定的な増加を目指します。中長期の収益拡大については、法定会計上の利益のみならず、生命保険事業の成長実態により近い、経済価値ベースの利益指標をより重視した上で、総合的に判断し、配当額を決定いたします。

親会社株主に帰属する当期純利益および配当実績／予想

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度(予想)
親会社株主に帰属する当期純利益	433億円	416億円	518億円	620億円	650億円
1株当たり当期純利益	99.67円	95.69円	119.30円	142.69円	149.42円
1株当たり配当金	55.0円	55.0円	60.0円	62.5円(予定)	65.0円

1株当たり配当金の推移



* 2011年度において株式分割を行いました。2009年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、2009年度、2010年度の配当金を算定しております。

子会社の状況：ソニー生命(単体) 2018年度実績



ソニー生命では、引き続きライフプランナー(営業社員)とパートナー(募集代理店)を通じたコンサルティングセールス・フォローを強化しています。また、2019年3月期は、保障内容をより充実させた新たな医療保険を発売しました。家族収入保険の販売が好調であったこともあり、新契約高は過去最高を更新し、着実に保有契約高を積み上げました。

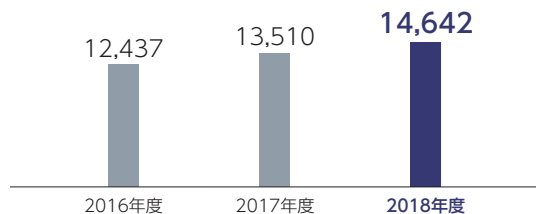
主力商品

- 死亡保障保険
- 生前給付・学資・医療保険 など

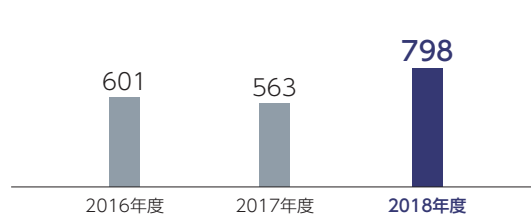
主な販売チャネル

- ライフプランナー(営業社員)
高いコンサルティング能力をもってお客さまと伴走
- パートナー(募集代理店)
お客さまの保険購買スタイルの多様なニーズを捕捉

経常収益(億円)



経常利益(億円)



	2016年度	2017年度	2018年度
新契約高 (億円)	49,575	52,879	61,504
保有契約高[年度末] (億円)	453,341	472,534	495,708
解約・失効率 (%)	4.27	4.97	6.06
ライフプランナー在籍数[年度末] (名)	4,933	5,142	5,164
保険料等収入 (億円)	9,567	10,592	11,361
基礎利益 (億円)	838	813	972
総資産[年度末] (億円)	88,736	95,676	103,801
単体ソルベンシー・マージン比率[年度末] (%)	2,568.8	2,624.3	2,590.5

※1 新契約高、保有契約高、解約・失効率は、個人保険と個人年金保険の合計です。

※2 解約・失効率は、契約高の減額または増額および復活を含めない解約・失効高を年度始の保有契約高で除した率です。

※3 ライフプランナー在籍数は、嘱託ライフプランナーおよび契約ライフプランナーを含んでおります。

子会社の状況：ソニー損保 2018年度実績



ソニー損保では、主力の自動車保険や医療保険における商品改定に加え、新たにインターネット専用の海外旅行保険や火災保険の販売を開始するなど、保険種目を拡充しました。また、顧客価値の最大化に向けた商品・サービス品質の向上にも継続的に注力しています。これらの取組みにより、経常収益および経常利益ともに過去最高となりました。

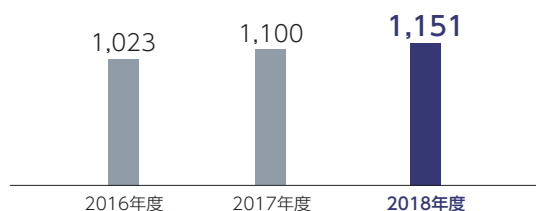
主力商品

- 自動車保険
- 医療保険（終身型定額保障タイプ）
（定期型実費保障タイプ）

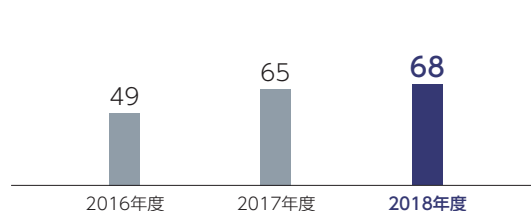
主な販売チャネル

- インターネット
- 電話

経常収益 (億円)



経常利益 (億円)



	2016年度	2017年度	2018年度
元受正味保険料 (億円)	990	1,070	1,121
正味収入保険料 (億円)	1,002	1,082	1,131
正味支払保険金 (億円)	501	524	566
保険引受利益 (億円)	30	48	50
修正経常利益 ^{※1} (億円)	81	100	105
正味事業費率 ^{※2} (%)	28.3	28.5	27.8
正味損害率 ^{※3} (%)	57.5	55.9	57.3
コンバインド・レシオ (%)	85.8	84.4	85.1
単体ソルベンシー・マージン比率 [年度末] (%)	730.8	782.1	813.0

※1 修正経常利益 = 経常利益 + 異常危険準備金繰入額

※2 正味事業費率 = 保険引受に係る事業費 ÷ 正味収入保険料

※3 正味損害率 = (正味支払保険金 + 損害調査費) ÷ 正味収入保険料

子会社の状況：ソニー銀行(単体) 2018年度実績



ソニー銀行では、「固定セレクト住宅ローン」の取扱いやAIを活用した住宅ローン仮審査の自動化を開始するなど、商品力強化とサービスの向上を通じ、貸出金残高を着実に積み上げました。また「ソニー銀行アプリ」をリリースし、利便性と安全性の向上を図りました。これらの取組みにより、経常収益および経常利益ともに過去最高となりました。

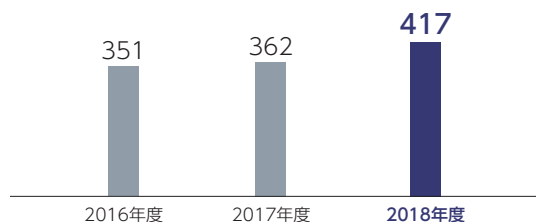
主力商品

- 預金(円・外貨)
- 住宅ローン
- 投資信託・外国為替証拠金取引 など

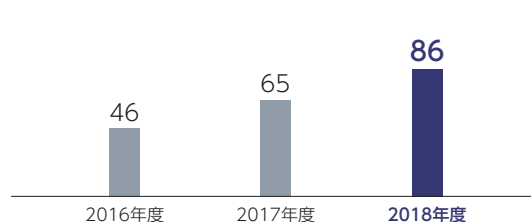
主な販売チャネル

- インターネット

経常収益(億円)



経常利益(億円)



		2016年度	2017年度	2018年度
業務粗利益	(億円)	211	214	245
営業経費	(億円)	165	155	159
業務純益	(億円)	46	59	85
預金残高[年度末]	(億円)	21,129	22,193	23,589
投資信託残高	(億円)	1,141	1,237	1,243
貸出金残高[年度末]	(億円)	15,396	15,963	17,441
住宅ローン	(億円)	14,524	15,255	16,903
口座数	(万件)	124	135	147
単体自己資本比率(国内基準)[年度末]**	(%)	9.75	10.45	9.58

** 単体自己資本比率(国内基準)は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準」(平成18年(2006年)金融庁告示第19号)に基づき算出しています。

ソニーフィナンシャルグループの取組み

ソニー生命 > 「ソニー生命ビジネスパートナーズ株式会社」を設立

ソニー生命では、経営の基本理念として「社員の個性を尊重し、その能力と適性を十二分に発揮する」を掲げ、多様な社員が生き活きと働けるよう、一人ひとりが能力を最大限に発揮できる環境づくりに取組んでおり、障がい者雇用を促進する取組みとして、2019年3月に「ソニー生命ビジネスパートナーズ株式会社」を設立しました。

同社では、データ入力業務や業界共通試験等の保険教育サポート等を中心に、当社の業務を請負います。なお、同社は、「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき、「特例子会社^{*}」の認定を受けました。

^{*}特例子会社とは、「障害者の雇用の促進等に関する法律」第44条の規定により、一定の要件を満たした上で厚生労働大臣の認可を受けた、障がい者の雇用に特別な配慮をした子会社です。



詳細は右記サイトで
ご覧いただけます。

https://www.sonylife.co.jp/company/news/30/files/190301_setsuritsu.pdf

ソニー損保 > 自動車保険で、「写真でカンタン見積り」や「無事故割引」を開始

ソニー損保では、2019年2月より、他社の自動車保険証券^{*1}の写真や画像をもとに、ほぼ同条件での翌年の自動車保険の概算保険料を、その場でウェブサイトに表示する「写真でカンタン見積り」の提供を開始しました。

また、2019年4月以降が始期となる自動車保険のご契約を対象に、前契約に等級ダウン事故等がない場合に、等級ダウン事故等があった場合に比べて保険料が2,000円お安くなる「無事故割引」を新設しました。前契約の保険会社を問わずに「無事故割引」が適用される自動車保険は、ソニー損保の自動車保険のみです^{*2}。

今後も、お客さまにとって納得感のある合理的な商品の開発、およびサービス品質の向上を図るとともに、Fintechの活用による利便性向上への取組みも継続していきます。

^{*1} 本サービスの提供は、代理店系損害保険会社4社の自動車保険証券から開始しました。

^{*2} 2018年12月17日時点で、ソニー損保が調査したものです。



詳細は右記サイトで
ご覧いただけます。

<https://from.sonysonpo.co.jp/company/news/2018/12/001.html>
<https://from.sonysonpo.co.jp/company/news/2019/02/002.html>

ソニー銀行 > 「ソニー銀行アプリ」を提供開始

ソニー銀行では、2019年2月より、「ソニー銀行アプリ」の提供を開始しました。「ソニー銀行アプリ」は、口座の残高照会や振込み、外貨普通預金の取引などの操作を簡単・便利に行えるスマートフォン向けサービスです。また、不正送金防止対策としてトランザクション認証*を実装しており、高いセキュリティレベルで取引が可能です。

ソニー銀行は今後も、利便性の高い金融サービスを提供してまいります。

*振込みの取引内容より自動生成される「振込先専用のワンタイムパスワード」を用いた認証方法です。お客さまと銀行の間に介在し、取引の通信の乗っ取りや取引を改ざんするような攻撃に対して有効なセキュリティ対策です。

詳細は右記サイトで
ご覧いただけます。

https://sonybank.net/pdf/press190206_01.pdf



ソニー・ライフケア > 「(仮称)ソナーレ浜田山」および「(仮称)ソナーレ目白御留山」の新規開設

ソニー・ライフケアグループのライフケアデザインは、新たに介護付有料老人ホームを開設します。中核ブランド「ソナーレ」シリーズの4棟目および5棟目として、2019年秋に東京都杉並区において「(仮称)ソナーレ浜田山」を、2020年春には東京都新宿区に「(仮称)ソナーレ目白御留山」を、それぞれ新規開設予定です。



(左から順に「(仮称)ソナーレ浜田山」「(仮称)ソナーレ目白御留山」イメージ)

詳細は右記サイトで
ご覧いただけます。

<http://www.sonylifecare.co.jp/news/pdf/release20181015.pdf>

<http://www.sonylifecare.co.jp/news/pdf/release20190131.pdf>

会社概要

商 号 ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社
設 立 日 2004年4月1日
所 在 地 東京都千代田区大手町1丁目9番2号
電話 03-5290-6500(代表)
事 業 内 容 生命保険会社・損害保険会社・銀行・その他の
保険業法および銀行法の規定により子会社とした
会社の経営管理、およびそれに附帯する業務

ホームページ <https://www.sonyfh.co.jp/>



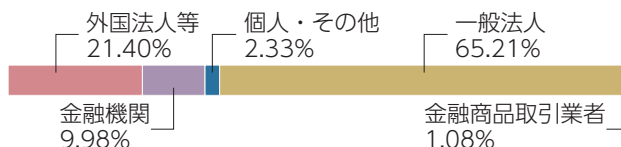
株主メモ

決 算 期 毎年3月31日
定 時 株 主 総 会 毎年6月
配当金支払株主確定日 毎年3月31日
単 元 株 式 数 100株
上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所 市場第一部
公 告 掲 載 方 法 電子公告

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(2019年3月31日現在)

発行可能株式総数 1,600,000,000 株
発行済株式の総数 435,062,983 株
株 主 数 15,960 名
株式の所有者別状況



ソニーフィナンシャルグループ特設サイト

「原点はお客さまのために」も是非ご覧ください。



ステークホルダーの皆さまにソニーフィナンシャルグループについてより知っていただきたいという思いから、特設サイトを開設しました。このサイトでは、ソニーフィナンシャルグループの歴史、現況、これからなどについてご紹介しています。



https://www.sonyfh.co.jp/ja/company/about_sfg.html

株主名簿管理人・
特別口座管理機関へのお問合わせ

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部

郵送先および連絡先

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
TEL：0120-232-711 (通話料無料)

受付時間

土・日・祝日等を除く
平日9:00~17:00

